

下地の種類と下地調整材の組合せ(例)

改修工法 既存下地の種類	アスファルト防水	改質アスファルトシート防水		合成高分子系ルーフingシート防水(接着工法)		ウレタン系防水層
	熱工法	トーチ工法	粘着層付き	加硫・非加硫ゴム系 1	塩化ビニル樹脂系 1	
既存コンクリート・モルタル等保護層面 2	・ポリマーセメントモルタル	・ポリマーセメントモルタル	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト
				3	3	3
既存保護層を撤去したアスファルト防水層面	・アスファルト系下地調整材	・ポリマーセメントモルタル	・アスファルト系下地調整材	×	×	×
	4	-	5			
既存保護層及びアスファルト防水層を撤去したコンクリート面	-	-	-	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト
				3	3	3
既存露出アスファルト防水層(砂付ルーフing仕上げ)面	・アスファルト系下地調整材	・アスファルト系下地調整材	・アスファルト系下地調整材	×	×	×
	6	5	5			
既存露出アスファルト防水層を撤去したコンクリート面	-	-	-	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト
				3	3	3
既存合成高分子系ルーフing防水層(合成ゴム系防水層)面	×	×	-	-	-	-
既存合成高分子系ルーフingシート防水層(塩化ビニル樹脂系防水層)面	×	×	×	-	-	-
既存合成高分子系ルーフingシート防水層を撤去したコンクリート面	-	-	-	-	-	・ポリマーセメントモルタル ・ポリマーセメントペースト
						3
既存ウレタン系塗膜防水層	×	×	×	×	×	-

- 1) - は、特別な下地処理を必要とせず、防水材料製造の指定するプライマー・接着剤等を使用することによって新規の防水を直接施工することが出来る。
- 2) 1 塩化ビニル樹脂系シート及び加硫ゴム系シートでの機械的固定工法ではm、絶縁用シートを敷込むため、既存の全下地に対して特別な下地調整は必要としない。
- 3) 2 保護コンクリート内部に含有水分がないこと、保護コンクリートと防水層の間に水がないことなどを確認すること及び既存下地の表面強度が十分である場合とする。
- 4) 3 ポリマーセメントペーストを損傷させないプライマー及び接着剤等を用いる場合に限る。
- 5) 4 既存防水層の表面状態がよい場合は、左欄の下地処理材を使用せずに、溶融アスファルトを直接塗布して、新規の防水層を施工することが出来る。
- 6) 5 アスファルト系下地調整材は、金ごてを用いて平坦に仕上ることとする。
- 7) 6 既存防水層(砂付ルーフing)の表面状態がよい場合は、左欄の下地処理材を使用せずに、アスファルトプライマーを塗布して、新規の防水層を施工することができる。